

	項 目	状 態
身 体	麻 痺	なし
	関 節 の 動 き	なし
	褥 瘡 の 有 無	なし
	視 力	全盲（中途障害） 障害手帳 1 級所持
	聴 力	普通
動 作	寝 返 り	何かにつかまるように促せばできる
	起 き 上 が り	手を付きながらできる
	立 ち 上 が り	できない
	座 位 保 持	背もたれがあれば座位保持可能
	立 位 保 持	支えがあれば可能
	歩 行	できない
	移 乗	できない
	移 動	車椅子支援
食 事	食 事 行 為	スプーンを使い自力摂取ができるが、見守りと言葉かけが必要
	水 分 の 状 況	むせなく摂取
	嚥 下 の 状 況	良好
排 泄	排 泄 行 為	テープ止めオムツ・パット 排便は希望時のみポータブルトイレ使用
	尿	曖昧
	便	時々あり
整 容 容	洗 面 行 為	ホットタオルを渡すと自分で行う
	体 を 洗 う 行 為	手の届く範囲のみ一部できる
	口 腔 ケ ア	セッティングを行い見守りと言葉かけ必要
	洗 髪	できるが洗い流しは支援
	整 髪	支援にてブラッシングは行える
	爪 切 り	できない
	衣 類 着 脱	衣類のセッティングは必要 言葉かけで一部動作可能 協力動作あり
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日常の意志決定	特別な場合以外、可能
	指 示 へ の 反 応	できる
	記 憶 ・ 理 解	物忘れ、思いこみがあり時々混乱している様子あり
	意 志 の 伝 達	できる

IADL の情報 1-2 静岡 静子 様（仮名）

	項 目	状 態
調 理	献 立	できない
	切 る	できない
	炒める・煮る	できない
	味 付 け	できない
	盛 り 付 け	できない
洗 濯	洗 う	できない
	干 す	できない
	た た む	できない
	片 付 け る	できない
買 い 物	品 物 選 び	できない
	支 払 い	できない
	購入品の片づけ	できない
掃 除	掃 く	できない
	拭 く	できない
	整 理 整 頓	できない
縫 物 補 修	糸 通 し	できない
	縫 う	できない
	修 復	できない
	針 の 管 理	できない
金 銭 管 理	日常の金銭管理	できない
	通 帳 管 理	できない
	支 払 い	できない
電 話	掛 け る	できない
	出 る	できない
通 院	受 診	付き添いが必要
	処 方 箋	できない

事例の概要

① 基本情報

氏 名	静岡 静子
生年月日	昭和 17 年 10 月 17 日
性 別	女性
要介護度	要介護 3
障害高齢者自立度	B2
認知症高齢者自立度	Ⅱb

②生活状況

静岡市のお茶農家の次女で生まれ、高校卒業後に衣料品販売の仕事に就いていた。27 歳の時に結婚して静岡市内で専業主婦をしていた。50 歳の時に事故により失明して、障害者手帳を申請する。夫と共に長男宅での同居を始める。時間は要したが、手の感覚にて自分で出来ることは、自分で行えるようになった。

65 歳の時に転倒して右大腿部複雑骨折、手術後リハビリを行うも歩行が困難となり、外出することも減り、75 歳で寝たきりになってしまう。夫も高齢となり長男の嫁が主介護者になるが、静子さんに軽度の物忘れが出現して、子育てとの両立が難しくなる。本人も迷惑をかけたくないと施設入所を希望して、77 歳の時に現在のユニット型の特別養護老人ホームに入所となる。

入所後からしばらくは、ベッド脇にポータブルトイレを設置して、排泄支援を行っていたが、80 歳頃から認知症の進行が徐々に見られ、失禁することが増えた。本人の体調を見ながら、ポータブルトイレ支援を行うも回数は減っていた。排便に関しては、希望時にポータブルトイレでの支援も行っている。

趣味の活動では、カラオケに参加、ラジオ放送を聞くことを日課として、日々過ごしている。手先の感触で物に触れ、物当てを楽しむこともある。

② 健康状態等

軽度認知症・膀胱、両下肢機能低下・全盲（障害手帳 1 級）

④趣味・好む活動

歌は聴くのも歌うのも好き・ラジオ放送を聞く

⑤家族構成

夫・長男夫婦・孫（男 20 歳・女 15 歳・女 9 歳）

⑥使用福祉用具

ベッド・L 字柵・立ち上がり補助器具・車椅子・ポータブルトイレ

⑦生活習慣

ラジオ放送を聞く

⑧サービス利用状況

施設入所

介護保険認定期間 令和5年7月1日～令和8年6月30日

⑨サービス利用中の様子

日々の生活は出来ることは自分で行い、迷惑をかけないように穏やかに過ごしていることが多い。居室での生活が主になっているためベッドの位置を変えない、言葉かけの方法に配慮するなど不安にならないようにしている。ADL低下がありこの1週間は排便時もポータブルトイレの希望はなく、ベッド上で対応している。そのためL字柵及び立ち上がり歩行器具の使用継続を検討、今は通常のベッド柵を使用中である。

また、記憶力の低下と思い込みによる発言が聞かれるようになり、本人は自信をなくしている。

課題

前回の排泄から時間が経っているため、訪室。ベッドで休んでいる静子さんに声を掛けると「漏らしたみたい」と言われました。静子さんに必要な支援を行ってください。